

議会だより

# ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第104号 2021年8月5日

和寒小学校プール授業  
説明（9ページ）

p2

お買い物クーポン第二弾

こんなことが決まりました

- p5 一般質問 4議員が登壇
- p9 Topic議会 ～新たなメンバー～
- p10 町民インタビュー聞かせて 和寒町女性ネットワーク

# お買い物クーポン第2弾

～コロナ対策専決処分 総額2740万円～

専決処分とは、議会で議決を得なければならない事柄において、地方公共団体の長が規定に基づき、議会の議決・決定の前に自ら処理することを言います。

# 6月定例会

## あらまし



### 専決処分

#### 【お買い物クーポン発行事業】

新型コロナウイルス対策として、お買い物ものクーポン発行事業について、対象者である和寒町民の人口を勘案し、1625万円を補正しました。利用期間は令和3年7月1日から8月31日までの2か月間です。

#### 【オンライン生涯学習等環境整備事業】

講演会などを公民館で行う際に、オンラインでの対応をするために必要な整備及び物品購入について、合わせて158万円の補正をしました。

#### 【小中学校感染予防対策事業】

感染拡大を防止するためのトイレ改修工事や、オンライン学習の支援などを合わせて621万円を補正しました。

#### 【Web会議・研修会環境整備事業】

コロナ禍においてオンライン会議などの利用が増加しており、通信状況の安定化を図るため、機

6月定例会議（第2回定例会）は、令和3年6月17日から18日にかけての2日間で開催しました。17日は、奥山町長から行政報告が述べられた後に、一般質問を行い、4人の議員が登壇しました。

その後、補正予算の審議等が行われました。18日は条例の改正等の審議の他、意見書5本が可決されました。

器整備について60万円の予算を計上しました。

#### 【公共的空間安全・安心確保事業】

新型コロナウイルス対策として、公共空間の感染防止に係るパーテーションや消毒液噴霧器などの備品購入について231万円を補正しました。

#### 【救急活動支援事業】

新型コロナウイルス感染症に対応した救急活動を維持するため、感染防止衣の購入について44万円の予算を計上しました。

### 補正予算

第2回定例会では左表の補正予算が可決されました。

### 令和3年度各会計補正予算一覧表

(※1万円未満切捨て表記)

会計別	補正額	補正後の額
一般会計	795万円	45億5436万円
特別会計		
国民健康保険(保険事業勘定)	45万円	5億4945万円
国民健康保険(診療施設勘定)	1114万円	2億5714万円
介護保険(保険事業勘定)	160万円	6億739万円

# ふれあいのもり キャンプ場

## 条例改正

〔和寒町地域資源活用  
交流施設設置条例の一  
部改正について〕

ふれあいのもりをキャン  
プ場として利用できる  
よう、使用料を定める条  
例の改正を可決しまし  
た。

## 工事請負

〔工事請負契約の締結〕  
左記の表のとおり工事  
請負契約の締結を可決し  
ました。

件名	請負業者	契約金額
若草団地	近藤組	1億835万円
若草集会所	浜田・コンドー経営 建設共同企業体	8723万円

## 財産の取得

〔ロータリ除雪車〕

町道除雪のための除雪  
車を5643万円で購入  
する財産の取得を可決し  
ました。



## 報告

〔和寒町一般会計繰越  
明許費繰越計算書〕

総額2億3963万円  
を本年度に繰越する報告  
がありました。

〔和寒町土地開発公社  
の経営状況について〕

経営状況について報告  
がありました。

## 質疑応答

### Q & A

お買い物クーポン券

Q お買い物クーポン券  
の目的は何か。

A 前年度と同じよう  
に、コロナ禍による自  
粛に協力頂いている町  
民への感謝と、町内の  
経済対策を目的として  
いる。

診療施設補正予算

Q 出張医の報償費とい  
うのはどのような状況  
を考えているのか。

A コロナワクチン接種  
を継続するため、常勤  
医が研修等で勤務でき  
ない場合に出張医を依  
頼する。

ロータリ除雪車購入

Q 昨年は補助金の配当  
が少なかったため購入を見  
送るといったことだった  
が、今年度購入した理  
由は。

A 本来は66%の補助率  
だが、配当は半分以下  
になっている。除雪車  
の老朽化が進んでいる  
ので、配当は昨年より  
微増程度だが決断せざるを得なかった。

A これまでも時期を見  
て対応してきたので、  
関係する団体の意見を  
聞きながら、必要な政  
策について検討をして  
いく。

# みんなの声を国政に

公益に関わる次の5件について、議員から意見書案を提出しました。  
第2回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁などに提出しました。

## 地方財政の充実・強化に関する意見書

提出者：中原 浩一 賛成者：酒向 勤、下條 美恵、小野田久美子 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣  
内閣府特命担当大臣（地方創生担当・経済財政政策担当）

（要旨）

2022年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすことが必要であることから、意見する。（全10項目）

## 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

提出者：中原 浩一 賛成者：谷口 勝弘、小野田久美子、村岡 敏一 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣  
文部科学大臣、内閣府特命大臣（地方創生担当）

（要旨）

国においては義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率1/2への復元、早急に実効性のある教職員の超勤・多忙化解消、「30人以下学級」の実現など、教育予算の確保・拡充、就学保障の充実を図るよう意見する。（全5項目）

## 2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者：中原 浩一 賛成者：酒向 勤、下條 美恵、小野田久美子 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：北海道労働局長、北海道地方最低賃金審議会長

（要旨）

北海道最低賃金の引き上げはワーキングプア（働く貧困層）解消のための「セーフティネット」の一つとして最も重要なものである。最低賃金が上がらなければ、その近傍で働く多くの方の生活はより一層厳しいものとなり、新型コロナウイルス感染症が収束した際の個人消費にも影響を与え、北海道経済の停滞を招くことにつながりかねない。

よって、2021年度の北海道最低賃金の改正にあたり、意見する。（全3項目）

## 米の需給・価格安定対策と米政策の見直しに関する意見書

提出者：村岡 敏一 賛成者：石田 利美、谷口 勝弘、池澤 哲也 採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

（要旨）

米をめぐることは、コロナ禍で中食・外食需要が減少し、主要地の豊作も相まって滞留在庫が深刻化している。については、稲作農業者が次年度以降も安心して経営を継続するため、需給改善に向けた対策を緊急に講ずるとともに、米政策の検証及び見直しを図り、国が責任を持って需給調整の役割を果たせるよう意見する。（全2項目）

## 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者：谷口 勝弘 賛成者：中原 浩一、石田 利美、窪田 裕二、採決結果：可決（全員賛成）  
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

（要旨）

北海道内の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されている。森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて、施策の充実・強化を図ることが必要であり、意見する。（全2項目）

**問 災害対策基本法等の一部改正での対応は**  
**答 広報誌や防災無線、町政懇談会などで周知**



中原浩一 議員



災害対策基本法等の一部改正での対応は

災害時における円滑かつ迅速な避難の確保、及び災害対策の実施体制の強化を図るため、今国会で災害対策基本法等の一部を改正する法律が可決され、5月20日から施行された。

この改正によって本町はどのような対応をするのか。

奥山町長

この法律の改正によって大きく変わったのは、避難行動のうち警戒レベル4の避難指示で避難勧告は廃止になったこと。広報誌や防災無線、町政懇談会などで周知することにも、自治会活動などを通して、町民に直接説明できる機会を設けたい。

○再質問

改正でのもう一つは、個別避難計画、避難行動支援者の名簿及び避難経路等を作成しなければいけない。

例えば、高齢者など移動に介護の必要な方や日本語のわ

からない外国人、乳幼児、妊婦、慢性疾患のある人なども避難行動支援者として名簿作成をして、支援する人達と連携を組みながら、どこに避難していくかという計画を立てなさいということだが、どのように対応するのか。

総務課長

個別避難計画をまとめた後に、個人情報扱いもあるもので整備して、各地域で相談し名簿の作成に着手する手順になると思っている。

奥山町長

支援者名簿だが、必要性は認めている。情報共有のあり方などの課題を整理し、どのように作っていくか活用するのか、しっかりと勉強して対応していきたい。

空き家等の解体対策と環境保全は

本町の空き家件数、空き家等の固定資産税の徴収方法、納税状況については、

国の空き家等の措置法改正

での対応は。また国連サミットでのSDGsの景観・環境対策としての危険家屋の衛生上の課題、再利用や解体等に対する補助など必要と考えるが。

奥山町長

町としては、個人の情報を把握することが困難なことから空き家としての調査はしていない状況。

空き家等の固定資産税の徴収方法については、固定資産税の対象となる家屋として、一般的に土地に定着して建造され、屋根及び壁を有し、雨風をしのぐ一定の空間を有するものを固定資産税の対象としている。

再利用や解体等に対する補助については、昨年、国において空き家対策制度の見直しが行なわれ、小規模な空き家対策事業も対象となった。

既に道内でも、いくつかの自治体で国の補助制度を活用しているケースもあるので検討する。

警戒レベル	これまでの避難情報	新たな避難情報
5	災害発生情報	緊急安全確保
4	・避難指示（緊急） ・避難勧告	・避難指示 （避難勧告は廃止され避難指示に一本化）
3	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者等避難
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁が発令します）	
1	早期注意情報（気象庁が発令します）	

▲変更された避難指示

**問 基幹産業である農業ビジョンは**

**答 農業・農村振興計画そのものが本町のビジョン**



村岡敏一議員



**問 環境に配慮した町独自の農業政策を**

**答 農業者・関係団体と連携して施策に取り組む**

基幹産業である農業ビジョンは

和寒農業の明るい未来を描くとき、どのような農業振興対策を行い基幹産業の農業を守っていくのか。

奥山町長

農家戸数の減少による担手の農地集積は20年間で20ha以上の規模を有する農家割合は5倍増、1戸当たりの経営耕地面積は2倍以上に拡大した。

第5次の振興計画を策定する際のアンケート結果では、今後農地の流動化は難しくなる恐れがあると考える。

また、南瓜やキャベツはこれまで以上に労働力確保が大きな課題と認識している。

農業ビジョンについては農業を取り巻く環境変化、地球温暖化や新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、各関係機関や協議会・議会の議論を経て策定したものが振興計画であり、第5次和寒町農業・農村振興計画そのものが本町の農業振興を実現するた

めのビジョンと認識している。

○再質問

本町の特産、南瓜やキャベツといった重量作物は敬遠され機械作業で完結できる作物に傾斜されることに町として、今の耕作状況をどのように考えているか。

奥山町長

人手不足による収穫作業での苦労話を沢山の農業者から伺っている。

昨年からホップの試験栽培を活性化センターで取り組んでおり、農業者が安定した農業経営をしていくための選択肢として考えている。

高齢化の加速によって、更に機械の大型化、ICT化、無人化に進んでいく事はやむを得ないと考える。

今ある和寒町の特徴をこれからも繋いでいくために、我々もその付加価値を上げていく。

環境に配慮した町独自の農業政策を

国が示す「みどりの食料シ

ステム戦略」に沿った町独自の環境に配慮した農業政策が必要と考えるが。

奥山町長

これまで農業用廃プラ処理費用の負担軽減策、南瓜の生分解マルチへの移行に伴う助成措置を実施してきた。

また、リビングマルチなどの環境保全型農業直接支払交付金にも782haで取り組まれており環境配慮に対して先進的な技術普及が図られている。

その一方で有機農業の取り組みは2件3haである。

今後環境保全対策への関心を高めグリーンで安心安全な農業を推進し、必要な施策に取り組んでいく。

○再質問

特に南瓜に関しては、蜜蜂との共生に関心を寄せている事から町として関わりを深くする必要があると思うが。

家畜排せつ物やバーク堆肥等、腐熟処理やペレット化による有効利用の考えはあるか。

奥山町長

養蜂に関しては農業者や養蜂業者の苦労話を聞いており、蜂の大切さを学んだ機会があった。

ふるさとギフトで蜂蜜もあることから、活性化センター等に情報を渡し、今後に向けて有効な情報を選択していきながら勉強していく。

バーク堆肥等の関係についても、現在利用頻度もだんだん減ってきており、農業者が有効に活用するにはどのように改善していくか、こういうものが使いたいか、これについても勉強する。



池澤哲也議員



## 問 人口減少歯止め対策について

## 答 町の魅力を積極的に発信していく

### 人口減少対策については

本町の人口は、昭和31年に11,736人を記録したのをピークに、本年5月末現在では3,161人と年々減少の一途をたどっている。

2020年10月での国勢調査によると、2015年と比較すると、2015年における2020年の目標値である3,343人を下回る結果となっており、早急な歯止め対策が必要と考え、3点について伺う。

- ① これまでの人口減少対策の効果及び課題は。
- ② 若者の流出防止策とU・ターン対策の強化は、また若者が地元で働けるような雇用の創出については。
- ③ 課題解決に向けた、地域活性化起業人制度（企業人材派遣制度）の活用は。

### 奥山町長

町ではこれまで、出産祝い金の増額や保育料の無料化、給食費の負担軽減など子育て世代への支援のほか、高齢者

おでかけハイヤー支援、なごやかサロン事業、マイホーム応援事業など取り組んでおり、現在の状況を受け止めながら、将来にわたって持続可能な自治体にしていけるよう、各種事業推進により、人口減少のスピードを出来る限りゆるやかにすることが、現実的な取り組みと考える。

第6次和寒町総合計画においては、住んでいて良かった、住み続けたいと思えるまちづくりを目指し、地元に着着を持っていただくことや、町の魅力を積極的に発信していくことが、転出を抑制することにも、Uターンやターンにつながるかと考えており、地域資源や地域特性を生かした特産品の開発や、産業の振興、起業化の支援などに積極的に努めていく。

地域活性化起業人制度については、企業版地域おこし協力隊と言われ、3大都市圏に所在する企業の社員を一定期間受け入れ、地域活性化に向けた取り組みに対し、最大60万円の特別交付税が措置されるものだが、現在、当制

度を活用するまでには至っていない。

現行の地域おこし協力隊の募集と併せて、今後研究していきたい。



### ○再質問

U・ターンについて、若者や若い夫婦のUターン就業、新規就農など、移住・定住対策の強化を図っていくべきと考えらるが。

### 奥山町長

新規就農の対策は必要と考えている。

活性化センターの活用や後継者、新規就農者を呼び込める環境作りを検討したい。

### ○再質問

若者の流出については、本町には若者の希望する雇用の場が、少ないことが挙げられると思う。

雇用の創出について総合計画で企業誘致活動の推進に図られているが、本町における企業誘致の具体的な取り組み、進捗について伺う。

### 奥山町長

これまでに、いくつかの相手と話はしたが、本町での労働力確保の問題、交通アクセスの問題など課題が大きい。

コロナで、以前にも増して厳しい現状だが、引き続き誘致の努力をしていく。



**問 第5次和寒町農業・農村振興の推進は**  
**答 スマート農業の取り組みを推進していく**



石田利美議員



第5次和寒町農業・農村振興の推進は

令和3年から、第5次和寒町農業・農村振興計画がスタートしている。

その中で、農業活性化センターの今後の方向性について、また昨年の鳥獣被害額と農業被害の防止対策について、更にスマート農業について伺う。

奥山町長

農業活性化センターは、農業後継者の育成を目的に平成8年度に開設以来、これまで20人の研修生が卒業し、うち15人が現在も町内で後継者として就農されている。

現在は研修生が1人で、卒業後は研修生の受け入れは見込まれていない。

地域おこし協力隊制度を活用した農業の担い手育成、確保に向けて検討を進めている。

昨年の鳥獣被害は約2900万円で、その約6割がエゾシカによる被害となっており、作物別では、カボチャや水稲の被害が目立っており、近年、被害額も増加傾向になってい

る。

アライグマについては、特定外来生物であることから、防除実施計画に基づき、農業者をはじめとする防除従事者による捕獲が進むとともに、各保全会においても箱罠が整備され、地域による捕獲体制の強化が図られている。

今後も猟友会や農業者の方々、関係機関と連携を図りながら、必要な有害鳥獣対策を進めていく。

スマート農業の推進については、町内においてもGPS付のトラクターや田植え機の導入、民間事業者によるドローンを使った農薬散布が行われており、今後も経営面積の拡大や労働力不足の解消、低コスト化による農業所得の向上に向けて、優先的な採択を受けられる国の交付金制度の周知を図り、関係機関と情報共有しスマート農業の取り組みを支援していく。



町長が考える観光の推進は

塩狩温泉跡地や夫婦岩用地を購入し、観光地にするために努力している。

塩狩温泉跡地は今年で完成する。

夫婦岩整備は、道路測量設計などでまだ時間が掛かる。町長が考える観光推進は。

奥山町長

塩狩温泉跡地と夫婦岩のある山林については、平成26年に購入して、塩狩峠・夫婦岩周辺整備検討委員会からの提案書を基に整備してきた。

塩狩温泉跡地の駐車場の整備を8月末までの工期で発注し、今後設置条例の整備のほか、町内外の訪問者が憩いの場として活用して頂くための環境整備に取り組んでいく。



▲整備された塩狩温泉跡地

また夫婦岩周辺整備は頂上までの道路の開設に係る測量設計業務を委託し、次年度以降に工事を計画したいと考えている。

塩狩地域は塩狩峠記念館や一目千本桜、夫婦岩や南丘森林公園などを有し、本町はもとより道北地域の南の玄関口の大切な観光資源と考えている。

一市三町着地型観光協議会事業においても、今後の塩狩地域の活用について、具体的な提案をしていきたい。



広報委員会  
新たなメンバーで

広報委員会は、5月2日の和寒町議会議員補欠選挙で当選された2名が加入し、新たなメンバー構成になりました。

今後、開かれた議会を目指し、わかりやすく、興味を持っていただけるような紙面づくりに努めますので、よろしくお願いたします。



～あなたの声をお聞かせください～

議会広報委員会では、議会を傍聴しての感想や議会だよりワットサムについてのご意見などを募集しています。

傍聴受付の横に設置しますので、些細なことでもかまいませんので、足を運ばれた際にはご協力をお願いいたします。



町民に開かれた議会を目指し、議会からの情報発信、情報公開等を積極的に行うため、一般質問の動画を配信しています。和寒町議会ホームページから閲覧することができます

<https://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

お問合せ：gikai@town.wassamu.lg.jp

議会では新たにYoutubeチャンネルを開設しました。

一般質問終了後、随時動画をアップロードしていきますので、ぜひチャンネル登録をお願いします。



表紙の説明

この1年間は、「コロナ禍の中のにげないワンシーン」をテーマにしていきます。

「和寒小学校 水泳授業」

今回の表紙は、今年7月12日にB&G海洋センターで実施された、今夏初めての和寒小学校4年生の水泳授業です。

体操のあと、体に水に慣らすのですが、水温が低いので、「きやー!」「冷たい!!」



などの歓声が響き渡りました。

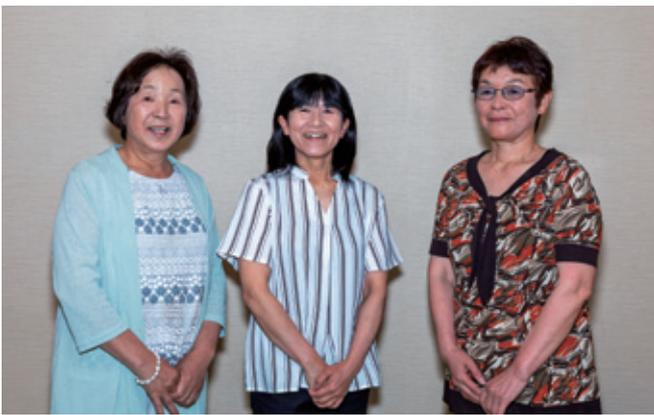
その後、水泳のスキルによってグループを分けて練習をしました。

B & Gでは、感染症予防対策を講じて、安全に利用できるように努めています。

職員の方の話では、今はコロナ禍で遠出ができないせいとか、例年より利用者が多く、たまにびっくりするほど多くのことが来るのがあったとの事です。



和寒町女性ネットワークの村岡直美会長、乗田あつ子副会長、西本清子運営委員にお話しを聞かせていただきました。



▲左から運営委員 西本清子さん、会長 村岡直美さん、副会長 乗田あつ子さん

◆ 会の発足と会員数は？

平成15年に町内の女性農業者団体の各会員が集まり、発足して今年で18年目になります。

現在会員は15名です。

◆ 会の活動内容は？

農産物の加工実習・研究活動や町内の各種イベント協力として、カボチャ、キャベツ等の加工品の出店販売などを行っています。

加工する時期は12月から2月までの3ヶ月間です。

冬期に加工し冷凍保存することで、春から秋までの繁忙期に料理が手軽に作れるので、品目が年々増えてきています。加工品は、五目おこわ・小揚・切り餅・あんこ餅・ミートソース・肉まん・万能タレなど11種類を作っています。

◆ 今後の課題は？

年々会員が減ってきているので、新規会員の加入促進を図りたいと思っています。

若年層のアイデアやフットワークは、会の活性化を図る事ができると思っていますし、添加物を使っていない自家製の加工品は、安全で安心して家族に食べてもらえますよ。

年齢要件はないので、興味のある方は会員になって、いろんな加工品を作ってみませんか。



◆ 町への要望は？

加工センターの管理は、職員が配置されており助かっています。

長年キャリアを積んでいるノウハウは、短期間で習得できるものではないと思いますし、私達もスムーズに合理的な作業ができることが大事だと思いますので、加工センター職員の後継育成も必要かなと感じています。



◆ 広報委員の一言

この広報誌が発行される頃は、東京オリンピックも終盤戦というところに入っていると思いますが、どんな盛り上がりになっていくのでしょうか？

コロナ禍の中、開催と中止や、有観客と無観客など、賛否あるとは思いますが、昨今のメディアや、マスコミの情報に流されない知識や良識が、国民にあるか、試されているような気がします。

新聞・テレビ・週刊誌のそれぞれの役割がある中、インターネット、SNSも含めて、情報過多になっていて、ひとりひとり、精査しなければいけない時代になっていると思います。

とにかくオリンピックの無事を祈ります。頑張れニッポン・頑張れ人類！ (勝弘)